



2013年3月期 業績説明会
業績総括 及び 事業方針

森のちからを、未来のちからに。

2013年5月10日 住友林業株式会社

代表取締役社長 市川晃

- **事業環境について**
- **2013年3月期の実績について**
- **2014年3月期通期業績見通し**
- **業績推移**
- **過去3年間の振り返り**
- **新たな目標について**
- **目標達成へ向けて**
- **株主還元について**

国内外の経済状況

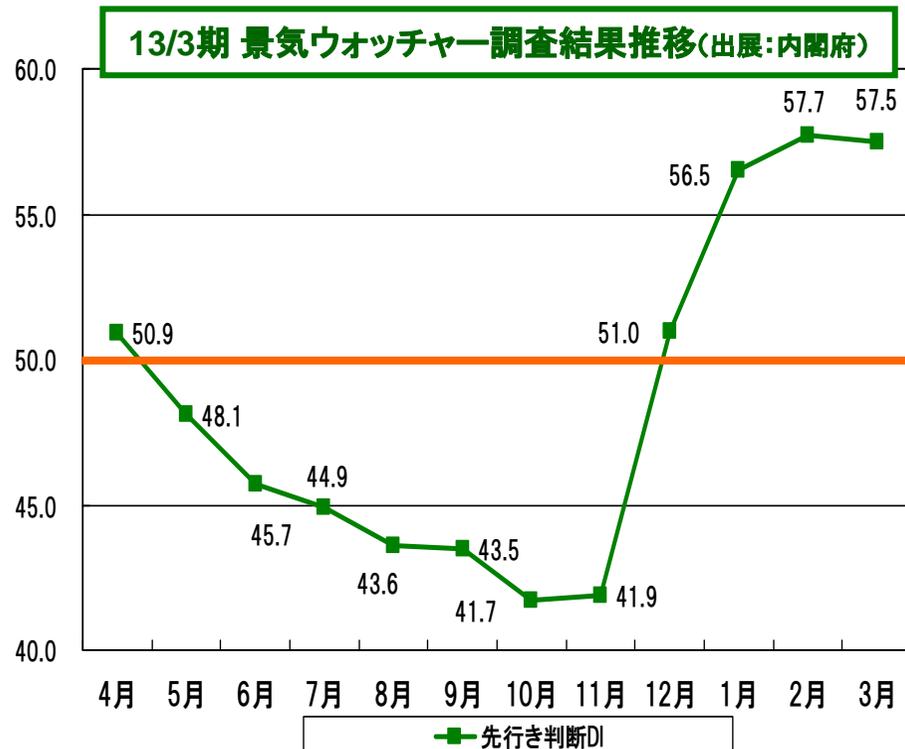
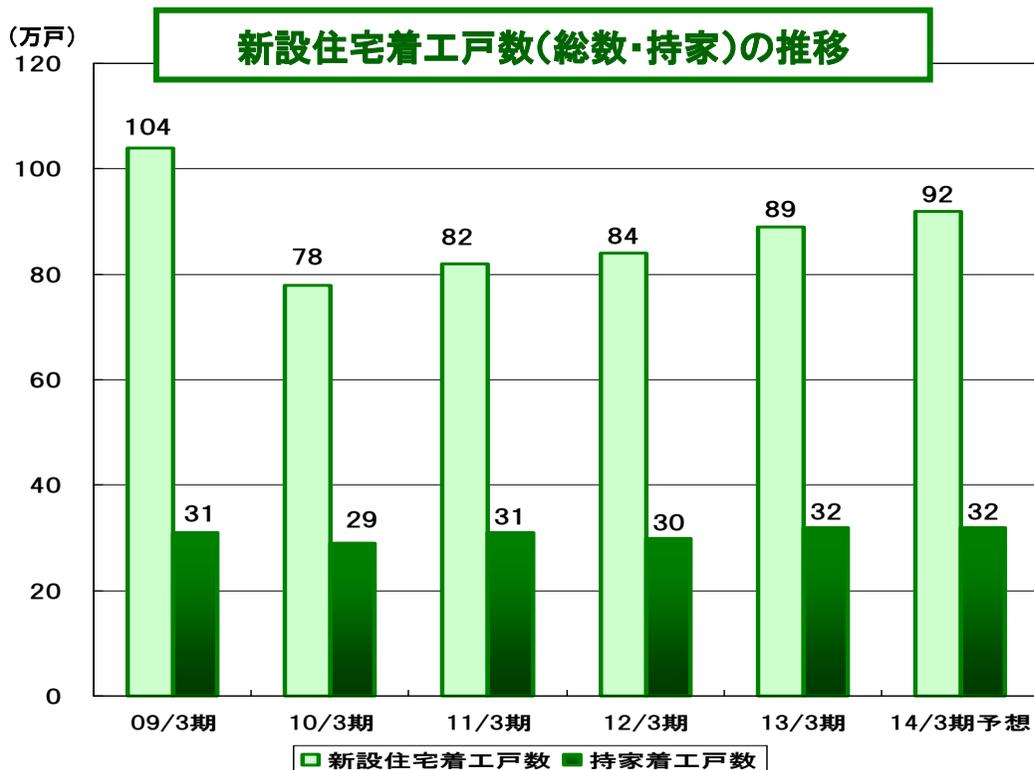
- 国内経済は、株高・円安となるなど、景気浮揚への期待感が高まっている。
- 海外においては、米国経済の回復基調が鮮明。一方、中国・インドを始めとする新興国に減速感、欧州経済も停滞。

新設住宅着工戸数

- 14/3期の新設住宅着工戸数は92万戸、持家着工戸数は32万戸を予想。
- 消費税対策と復興需要に向けた取り組みをグループ横断的に推進する。

当社のスタンス

- 事業変化に対し柔軟に対応する一方、長期的ビジョンを持ち、短期的な事業環境の変化に左右されない強い収益構造を構築していく。



住宅事業が牽引し、増収増益

- 13/3期業績は堅調な国内住宅市場を背景に、順調に推移。
- 住宅事業が増収増益、木材建材事業の業績も堅調に推移し、海外事業の赤字幅が縮小したことにより、全体で増収増益となった。
- 海外事業の収益改善等、解決すべき点もあり、引き続き課題解決を進めていく。

2013年3月期 実績

(単位:億円)

(連結)	12/3期	13/3期	前期比
売上高	8,319	8,452	+1.6%
営業利益	192	253	+32.0%
経常利益	207	270	+30.3%
当期純利益	93	159	+71.8%

数理差異除くベース

(単位:億円)

12/3期	13/3期	前期比
8,319	8,452	+1.6%
241	250	+3.6%
256	266	+3.9%
122	157	+28.5%

堅調な国内住宅市場を背景に 引き続き増収増益を計画

- 国内住宅市場は堅調に推移すると予想され、木材建材事業、戸建注文住宅事業は増収・増益を計画。
- 消費税増税の影響については、上期にある程度の駆け込み受注発生を予想。
- 下期についても、木材・建材などの住宅資材を含めた住宅関連市場が活発になる事が予想される。
- 来期以降の市場環境を睨んだ対策も重要。

2014年3月期 通期予想

(単位:億円)

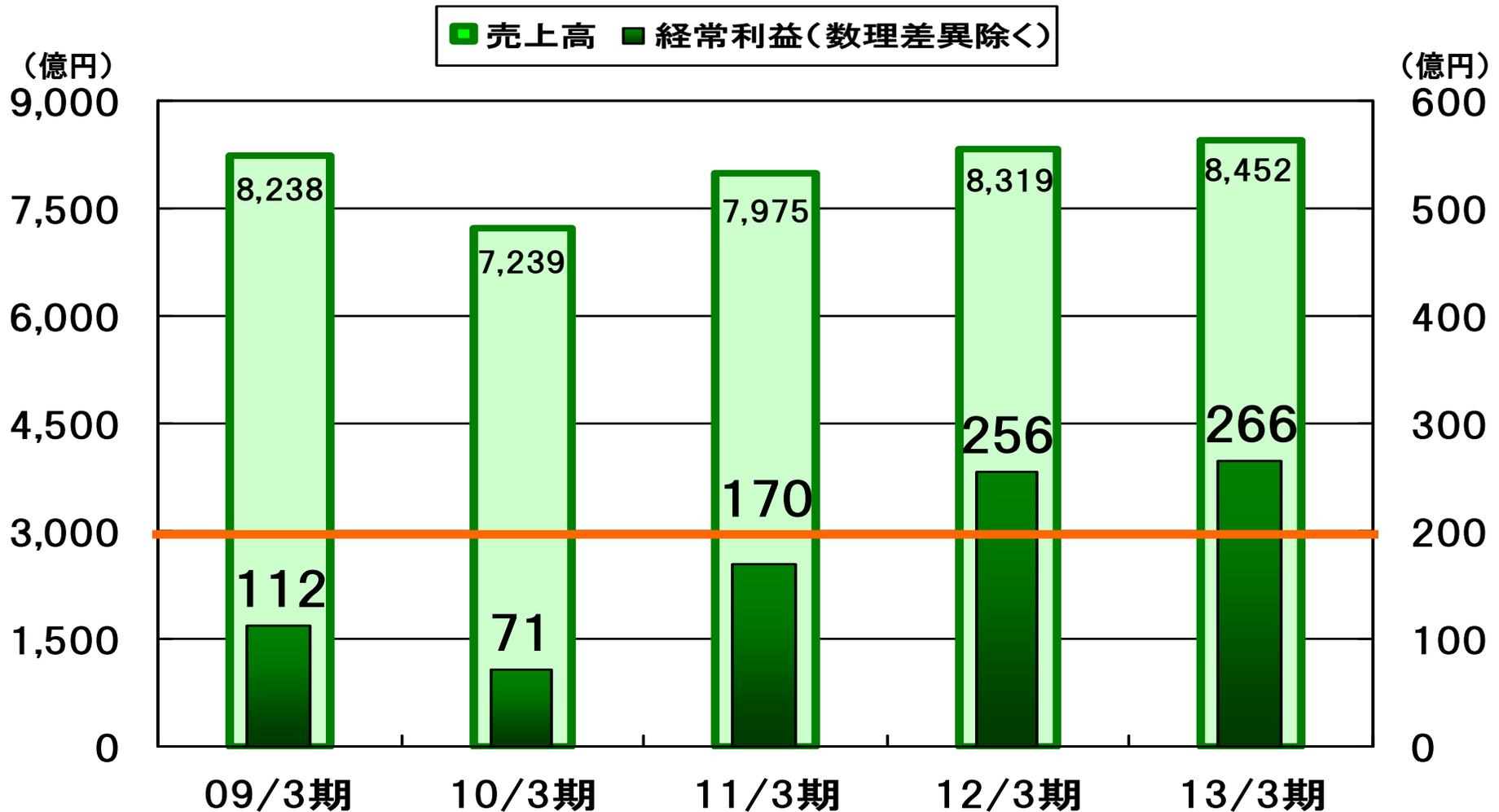
数理差異除く (単位:億円)

(連結)	13/3期	14/3期 予想	前期比
売上高	8,452	9,000	+6.5%
営業利益	253	275	+8.6%
経常利益	270	280	+3.8%
当期純利益	159	160	+0.5%

13/3期	前期比
8,452	+6.5%
250	+10.1%
266	+5.1%
157	+1.9%

経常利益200億円体制を確立

- 11/3期からの3カ年で経常利益200億円体制を確立したと判断。



主力事業を中心に、大幅増収増益

2010年3月期との比較

木材建材事業

- 住宅資材物流を行う3PL事業への参入や、バイオマス発電事業の開始等、新たな事業領域への進出を実施。

住宅事業

<戸建注文住宅事業>

- コスト削減、事業効率化を徹底的に実行し経常利益率が改善。

<リフォーム事業>

- 拠点拡大、人員増強、商品ラインアップの充実化。

海外事業

- 米国キャビネット会社の買収、ベトナムのPB工場の設立等、事業規模の拡大を実施。

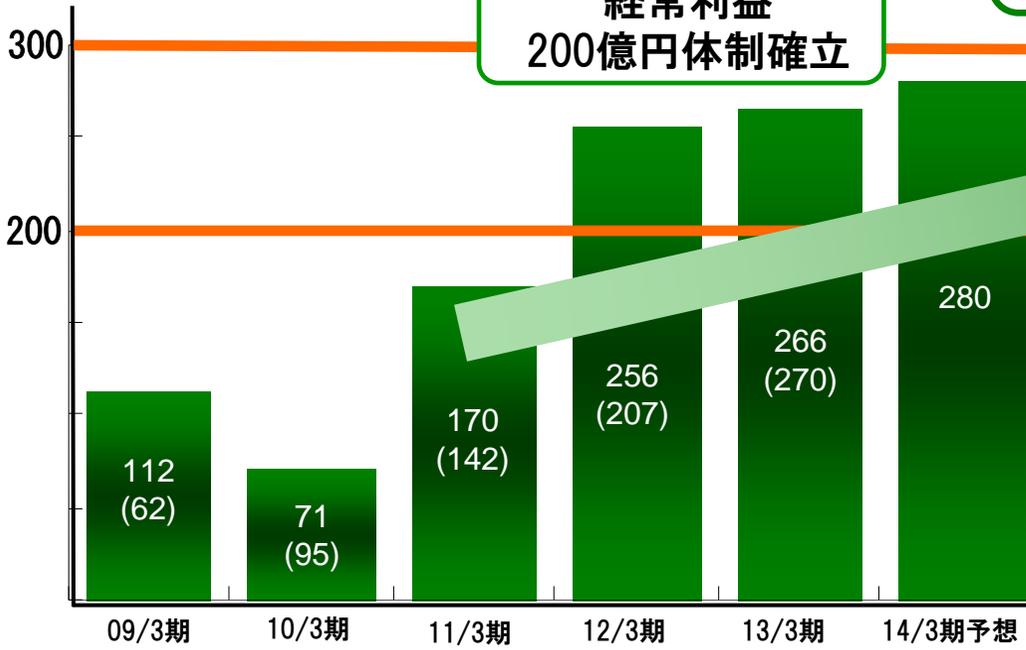
	10/3期	13/3期	10/3期比	
木材建材事業	3,454 21 0.6%	4,013 47 1.2%	+559 +26	+16.2% +119.8%
住宅事業	3,747 123 3.3%	4,308 262 6.1%	+561 +139	+15.0% +113.0%
内 リフォーム	375 16 4.2%	530 27 5.1%	+155 +11	+41.5% +73.8%
海外事業	217 △27 △12.5%	387 △18 △4.8%	+169 +9	+77.9% -
その他	170 5 2.8%	154 8 4.9%	△16 +3	△9.2% +57.2%
調整	△348 △51 -	△409 △32 -	△61 +19	- -
合計	7,239 71 1.0%	8,452 266 3.2%	+1,213 +195	+16.8% +275.0%

※上段:売上高、中段:経常利益(数理差異除く)、下段:経常利益率

経常利益200億円体制を確立

3年後を目途に
売上高1兆円、経常利益300億円体制の構築

経常利益: 億円 (数理差異除く)
()の数値は数理差異を含む



売上高1兆円
経常利益300億円

次の目標は
3年程度で見直し

PROJECT SPEED
国内新設住宅着工戸数に過度に依存しない、
収益ポートフォリオの構築

新たなステージへ向けた成長戦略

主力事業

➡ 市場環境の変化への柔軟な対応と効率化を継続し、収益基盤をより強固に

<木材建材事業>

- 環境配慮機器、リフォーム資材、国産材の取り扱い強化。
- 新興国市場を中心として海外流通事業を拡大。



<戸建注文住宅事業>

- 顧客の嗜好、地域毎の市場分析に基づき、マーケット環境の変化に柔軟に対応。
- さらなる事業効率化も進め、収益を維持・拡大。



成長事業

➡ 収益強化のための規模拡大

<海外事業>

- 事業及び地域のポートフォリオを再構築。
- メリハリをつけ、M&Aも視野に、事業規模の拡大を加速。



<ストック住宅事業(リフォーム)>

- 業容を拡大させ、売上高1,000億円を早期に達成する。

-
- アパート事業、戸建分譲住宅事業等の拡充。
 - リノベーション事業等の住宅ストック事業、木化事業、バイオマス発電事業など、次世代の成長事業にも注力。



1691年創業



山林経営開始
川上～川下の
事業の起源



海外からの木材調達、
全国的な
木材・建材流通整備



いち早くCAD・CAM、
プレカット等を導入、
木造住宅の近代化



海外での
木質パネル・ボードの
製造、木造住宅販売



蓄積したノウハウによる
海外での大規模植林

新たな「木」の可能性を引き出し、
付加価値を高めながら事業を拡大

主力事業

成長事業

これからも、住友林業グループは「自然素材である木を活かし、
住生活の向上を通じて、豊かな社会の実現に貢献していく」
ことを基本に、時代に応じた新しい事業を展開していく

経常利益200億円体制の確立を受け、増配を実施

2012年3月期 配当実績

中間配当	7.5円/株	
期末配当	7.5円/株	<u>年間配当 15円/株</u>

2013年3月期 配当予定

中間配当	7.5円/株	
期末配当	9.5円/株	<u>年間配当 17円/株</u>

2014年3月期 配当予想

中間配当	9.5円/株	
期末配当	9.5円/株	<u>年間配当 19円/株</u>

株主の皆様への利益還元については、収益水準や内部留保の状況、今後の事業展開等を総合的に勘案し、継続的かつ安定的に行うことを基本方針としています。

**本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。**